

平成 27 年 8 月 17 日

こんにちは 連絡係の稲垣です。

お盆休み明け、溜まったメールに対応しながら、なんとか仕事モードに切り替えようと早朝から頑張っていますが、どうも頭が重い、キレが悪い、スピードが遅い。もう一回、顔洗ってこっと...

さて、地域の情報をいただきました。ご関心のある方は直接、主催連絡先にお問合わせてください。よろしくご査収下さい。

稲垣様

久しぶりの本格的な雨が与えられ、田畑や花壇が生き返りましたね。

地域の情報を、広報およろしく願います。

1978 年、イタリアでは「バザーリア法」が制定され、精神科入院病棟が廃止され町の精神保健センターとして生まれ変わりました。長年、病院内で暮らしていた人々が地域に帰り人間としての生活を取り戻して行くまでを描いています。中心になって尽力した精神科医 フランコ・バザーリアと入院患者だった人達に焦点を当てて、変革の道筋をたどることが出来ます。

私たち介護分野の事業者も、精神科と関わることが多くなってきているこのごろです。一般病院では考えられない 10 年を超える長期入院のこと、障がいを抱える人たちが地域で生きるために、私たちにできることは何だろうか、と考えを深めるために是非見ていただきたい映画です。

とき 9 月 13 日(日) 13:00~16:30

ところ 中部学院大学各務原キャンパス 1101 番教室

資料代 1000 円

主催 ぎふ各務原でバザーリア映画を自主上映する会

(特定非営利活動法人さわやか伝言ばん も参加しています)

連絡先 070-5019-0882 (担当: 太田)

または 058-385-5615 (担当: 柴崎)

定員 400 名に達した時点で受付終了となるため、事前申込をお願いしています。資料代 1000 円は、当日お支払いただきます。